

ヤクルト世界大会、創業の地福岡で5年ぶり開催

ヤクルトレディの『お届け』今年で60年



Yakult

成田 裕代表取締役社長

開会にあたり、成田裕代表取締役社長は「ヤクルトの創業の地、福岡にようこそ！コロナ禍を経て、5年ぶりに世界大会を開催することができた。

先日、大谷

日本をはじめ世界から約3000人が集結

に毎日自転車でお届けをしていた。このような仕組みをつくった背景には「いつどこでつくったものか、だれの手によって、どのよう

ヤクルト本社は11月、創業の地である福岡・福岡市で、前回の京都大会から5年ぶりとなる「2023ヤクルト世界大会 輝く未来と夢の実現」創業の地から健康と笑顔の世界へ」を開催。優秀な営業成績を収めているヤクルトレディ等関係者を日本をはじめ台湾、ブラジル、中国、豪州、米国、オランダ、ドイツなどから約3000人を招待し、地元福岡の高校生マーチングバンドによる演奏とともに開幕した。

なお客さまに届けられているか、すべてチェックできるのが宅配制度である」という創始者代田 稔博士の考えがあった。社員もまた、乳酸菌事業のあり方について日々議論する中で乳酸菌の可能性や価値に気づき、そこから、自分たちはただ乳酸菌を売るのはないという思想が生まれ、普及の精神が培われ、『お届け』という言葉が定着した。ヤクルトレディによるお

届けが始まったのは1963年、今年で60周年を迎えた。ヤクルトレディによるお届けは客さまからも支持され、また、女性の社会進出という時代の流れともあいまって歓迎された。『ヤクルト』という商品を通じて健康をお届けするという仕事は、日本のみならず海外でも受け入れられており、現在、海外15事業所で5万人を超えるヤクルトレディが活躍している。今、日本には約3万2000人、海外事業所を合わせると世界には8万人を超えるヤクルトレディという仲間、ファミリーがいること

を誇りに思っている」と語った。

さらに、今後の事業展望について「ヤクルトグループは、日本を含め世界40の国と地域でヤクルトの商品を販売し、毎日4000万本以上が愛飲されている。創業当時から受け継がれている『健康社会の実現』という願いは、現代、未来にも通じるもの。ヤクルトが創業した時代の『健康』と、現代の『健康』は、意

味するものが大きく変化している。これから先も客さまから支持されるためには、私たちも進化を続けなければならぬ。このような考えから、ヤクルトグループが目指す2030年の姿として『世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化』というビジョンを掲げた。

世界にはヤクルトを知らない人はまだ数多くいる。すでに『ヤクルト』を愛飲いただいている方でも健康に関する考え方や志向が大きく変化していくと思う。このような中、代田博士の考えを基盤とし、世界の人々の健康ニーズに応えら



地元福岡の高校生マーチングバンドによる演奏とともに開幕

れるよう『ヘルスケア』の会社として、今後も発展していく」と意欲を示した。ヤクルトレディの表彰式では、成田社長をはじめ同社役員が記念品を授与し、ヤクルトのCMに出演している喜劇俳優の伊東四朗、作詞家の秋元康、俳優の内田有紀、宮澤エマ、歌手の森高千里がゲストプレゼンターとして参加。司会は俳優の松坂桃李らが務めた。

永年功労特別表彰（勤続年数50年以上）の表彰式では、伊東四朗がプレゼンターを務め「私がヤクルトのCMを始めて40年。皆さんには10年足りない。あと10年頑張つて皆さんと肩を並べたい」と敬意を表した。またゲストとして、東京ヤクルトスワローズの高津臣吾監督、村上宗隆、山田哲人、中村悠平、高橋奎二の4選手も登壇。高津監督



永年功労特別表彰（勤続年数50年以上）



東京ヤクルトスワローズメンバー

は「今年は残念な結果となったが、来年は日本一を奪還できるよう頑張りたい」と想いを示した。

さらに会場では、秋元がプロデュースしたオリジナル楽曲とともに「ヤクルトの宅配」の今を伝える新CMも披露された。

永年功労特別表彰、永年功労表彰、優秀社員賞、優秀賞、本社社長賞、代田賞



桑元由香梨さんがヤクルトレディを代表して挨拶



代田賞表彰

の各賞表彰ののち、鹿児島ヤクルト販売吉野センターでヤクルトレディとして活躍している桑元由香梨さんがヤクルトレディを代表して挨拶。

先天性の持病をもつ子どもの主治医から「医者とは病気を治すのが仕事だが、由香梨さんは病気になる前の人達を救える仕事だ」といわれたことや、ステージ4

のガンから回復した訪問先の主婦との交流を通してヤクルトレディという仕事に励んできた話を紹介。そのうえで「まだ出会えていない地域の方に自分のことを知ってもらうことが目標。あのヤクルトレディに出会えてよかったと思ってもらえるよう、ヤクルトを飲んで訪問先のご家族が健康で明るい毎日を過ごせるよう、日々しっかりお届けすることが私の使命だ」と目標を語った。

フィナーレでは、参加者全員でヤクルト社歌を斉唱。成田社長が、次回は2025年に同社創立90周年記念大会を千葉・幕張メッセで開催すると宣言し終幕した。



次回は2年後、創業90周年大会を幕張で

新テレビCM「ヤクルトの宅配みんなのもの篇」

ヤクルト本社はこのほど、新テレビCM「ヤクルトの宅配みんなのもの篇」（15秒、30秒）の放送を開始した。

俳優の大泉洋が出演し、「健康を、もつとみんなのものに」というメッセージをとおして、進化している「ヤクルト」の宅配の今を紹介。CMに使用する楽

曲は「Yakult（ヤクルト）1000」の広告タレントとしても馴染みの作家 秋元康が書き下ろしたオリジナルイメージソング「My family」とした。秋元は「雨の日も、風の日も、雪の日も、もちろん、とびきりの青空の日も、ヤクルトさんとすれ違う時、変わらぬ笑顔を

くれました。どんな時も変わらない笑顔、これって、みんなが家族ってことかと。ヤクルトのみなさんも、『ヤクルト』をお届けするお客さまも、みんな一つの大きな家族であり、その中心は愛であるという歌を作りました」とコメントしている。なお、歌は日向坂46の齊藤京子が担当。